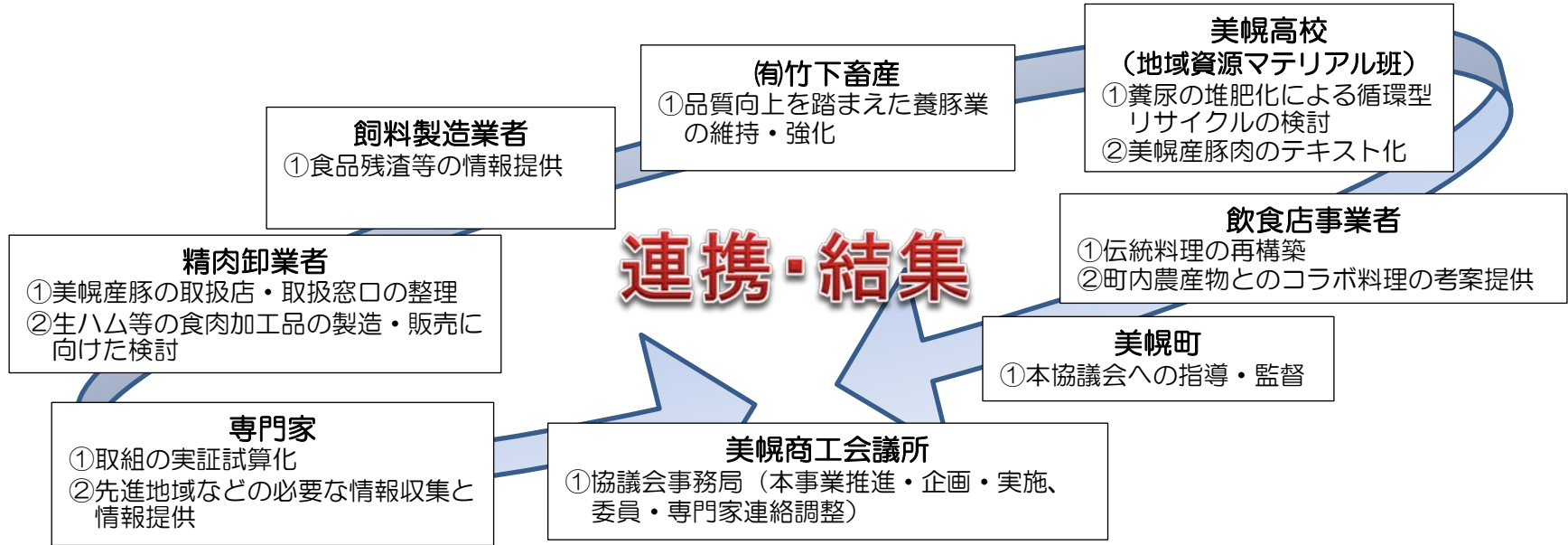


商業関係者等との連携によって収益性向上に取り組む畜産クラスター事例② 北海道

美幌豚肉クラスター協議会

エコフィードによる生産コストの低減、食品残渣の利用による飼料自給率の向上、そして、食品残渣による食味・肉質向上を図り、高収益型の畜産体制を構築

連携・結集



【実証内容】

- ①エコフィードによる生産コストの低減
- ②地域資源を利用した飼料費の低減と飼料自給率の向上
- ③旨味成分等に着目した食肉生産
- ④環境対策の強化と耕畜連携による堆肥等の有効活用
- ⑤情報共有と指導体制の再構築

【効果・目標】

- ①生産コスト50%削減
- ②飼料自給率70%向上
- ③オレイン酸等の含有率向上と豚肉加工食品数10品に増加
- ④残渣供給先5社、堆肥供給農家6社、堆肥製造量300トンに増加
- ⑤情報共有体制を企業から町民に移行(小学生400名)

